

令和 05 年度		設計書		調 査	
見附駅周辺整備（地中熱融雪施設新設）工事				設 計	
工 事 番 号		施 工 地			
建工第11号		見附市 本所2丁目 地内			
		実 施 ・ 元		変 更	
設 計 額	円		円		
契 約 額 （ 内消費税額 ）	円 （ 円 ）		円 （ 円 ）		
工 事 ・ 履 行 日 数	工事日数 又は 完成期限	150 日間 年 月 日	日間（ 付与日数 完成期限	年 月 日	日間 ）
実 施 （ 元 ） 設計概要	地中熱融雪施設工 ヒートパイプ工 A = 5 0 m 2		変 更 設計概要		

特 記 仕 様 書

【適用範囲】

本工事の施工にあたって受注者は、契約書に基づき、設計図書に従って施工するものとする。また、設計図書のうち仕様書については、本「特記仕様書」及び「新潟県土木工事標準仕様書」（港湾工事にあたっては、「新潟県港湾工事標準仕様書」）を適用するものとする。

○施工条件関係

下記項目、事項のうちレ印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明示項目	施 工 条 件
<input checked="" type="checkbox"/> I 工程関係	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり ・工事名： ①見附駅周辺整備（駐輪場改修）工事，②見附駅周辺整備（東口駅前広場造成）工事 ・予定期間： ①（工事中）～令和6年2月，②（工事中）～令和5年12月
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 施工時期、時間、方法の制限あり ・時 期： 別途発注工事②と合わせ、本工事についても12月末までに完了させ、降雪期（1月）より供用を開始させること。 ・時 間： 朝夕の混雑ピーク時間については、工事車両の搬入出を避け、一般車両との錯綜を避けること。 ・方 法：
	<input type="checkbox"/> 3. 関係機関協議による工程条件あり ・協議内容： ・完了予定時期：
	<input type="checkbox"/> 4. その他
<input type="checkbox"/> II 用地関係	<input type="checkbox"/> 1. 工事用地等の未処理部分あり ・処理見込時期： ・区 間：
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設ヤードの指定あり ・場 所： ・期 間：
	<input type="checkbox"/> 3. その他

明示項目	施 工 条 件
□ Ⅲ 公害対策 関 係	□ 1. 公害防止の制限あり（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） ・施工方法： ・作業時間：
	□ 2. 家屋等の調査の必要性あり ・方 法： ・範 囲：
	□ 3. その他
☑ Ⅳ 安全対策 関 係	☑ 1. 交通安全施設等の指定あり ・交通誘導員：80人日 昼間勤務 交代要員無し 交通誘導員は工事現場ヤード出入口に1人配置する。 勤務実績を提出すること。 ・その他施設等：
	□ 2. 近接作業制限あり（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） ・内 容： ・工法制限：
	□ 3. 発破作業あり ・保安設備 及び保安要 ・防護工： ・作業時間制限：
	□ 4. 防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等） ・内 容：
	☑ 5. その他 交通誘導警備員については、警察など関係機関との協議により交通処理方法などの変更が生じた場合や、現地の状況により、これによりがたい場合は、監督員と協議すること。

明示項目	施 工 条 件
<input checked="" type="checkbox"/> V 工事用道路関係	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 一般道路を搬入路としての使用制限あり <ul style="list-style-type: none"> ・搬入経路： ・期 間： 朝夕の混雑ピーク時間については、工事車両の搬入出を避け、一般車両との錯綜を避けること。 ・使用後の処置：
	<input type="checkbox"/> 2. 一般道路の占有 <ul style="list-style-type: none"> ・期 間： ・規制条件： ・時間制限：
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設道路設置 <ul style="list-style-type: none"> ・工法指定の有無： ・用地関係： ・安全施設： ・工事完了後の 「存置」または「撤去」：
	<input type="checkbox"/> 4. その他
<input type="checkbox"/> VI 仮設備関係	<input type="checkbox"/> 1. 仮設備の指定あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設備の条件指定あり
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設構造物の転用、兼用あり <ul style="list-style-type: none"> ・工 種： ・内 容：
	<input type="checkbox"/> 4. イメージアップあり <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：
	<input type="checkbox"/> 5. その他

明示項目	施 工 条 件
<input checked="" type="checkbox"/> VII 残土・産業 廃棄物関係	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり
<input type="checkbox"/> VIII 工事支障 物 件 等	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） ・内 容： ・移設、撤去、 防護方法等： ・時 期：
	<input type="checkbox"/> 2. 占用物件重複施工あり ・内 容：
	<input type="checkbox"/> 3. その他
<input checked="" type="checkbox"/> IX 排水工 (濁水処理含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理等の特別な対策あり ・内 容： 削孔時において発生するベントナイト汚泥については適切に処分することとし、周囲への拡散防止装置を図る
<input type="checkbox"/> X 薬液注入 関 係	<input type="checkbox"/> 1. 薬液注入工法あり ・別紙条件明示による
<input type="checkbox"/> XI そ の 他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり ・品 名： ・納入場所：
	<input type="checkbox"/> 2. 支給品及び貸与品あり ・品 名： ・引渡場所：
	<input type="checkbox"/> 3. 品質証明の必要あり ・標準仕様書第1編（章）1－1－1－24による
	<input type="checkbox"/> 4. その他

○指定材料関係

材料名・材料規格については、参考資料で指定している。なお、参考資料の仮設工における数量・材料名・材料規格は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考であるので、指定とならない。

○排出ガス対策型建設機械関係

排出ガス対策型建設機械（第2次基準）を標準としている施工においては、これを積極的に使用し普及促進に努めること。

建設副産物特記仕様書

1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	備 考

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施 工 会 社 名 ・ 連 絡 先	備 考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記により積算している。

搬 出 先			
搬 出 先 地 名			
連 絡 先			
設 計 運 搬 距 離			
受 入 時 間			
設 計 受 入 費 用			
仮 置 場 所 の 有 無			
備 考			

建設発生土改良プラントへ土砂を運搬処理する場合、上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。

なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

注) 受入先が建設発生土改良プラントの場合、排出先欄には「プラント」と記載し、搬出先名、連絡先の欄は記入しない。

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記により積算している。

搬 出 する 廃 棄 物 名	建設汚泥		
設 計 運 搬 距 離	22.4 km		
受 入 時 間	8:30～17:00		
設 計 受 入 費 用			
備 考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 舗装版切断時の濁水搬出

工事の施工により発生する舗装版切断濁水は、下記により積算している。

設 計 運 搬 距 離	km	km	km
受 入 時 間			
設 計 受 入 費 用	円	円	円
備 考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

6. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

7. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

8. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

アスベスト含有建設資材に関する特記仕様書

本工事においては、アスベスト含有建設資材を使用してはならない。

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。
※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意），“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxx	RRxxxxxxx	TRxxxxxxx	TVJxxxxxx	TRxxxxxxx	TNNxxxxxxx	TNPxxxxxxx
資材単価	TZxxxxxxx	TXxxxxxxx	TTxxxxxxx	TMxxxxxxx	TZUxxxxxx	MMxxxxxxx	MMxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxx	Kxxxxxxx	KExxxxxxx	TDxxxxxxx	TGxxxxxxx	TQxxxxxxx	TQxxxxxxx
市場単価	TAxxxxxxx	TBxxxxxxx	TCxxxxxxx	Wxxxxxxx	TFJxxxxxx	TYxxxxxxx	TYxxxxxxx
その他	T9999001～T9999099 ※	Fxxxxxxx	Fxxxxxxx	TL09xxxxx	MM09xxxxx	TQ09xxxxx	TQ09xxxxx
東京単価	RR9xxxxxx	TZ09xxxxx	TZP9xxxxx				

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合があります。
※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。※

積算基準 [1 県版]	Sxxxxxxx	SCBSxxxxx
積算基準 [2 調査関係]	SAxxxxxxx	SBxxxxxxx
	SCxxxxxxx	SDxxxxxxx
積算基準 [3 港湾]	SDHxxxxxx	SExxxxxxx
	SSHxxxxxx	
積算基準 [4 下水道]	SWGxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準 [1 一般土木] 全国版	SWBxxxxxx	WBxxxxxxx
	SCBxxxxxx	CBxxxxxxx
積算基準 [4 公園緑地]	SWCxxxxxx	WCxxxxxxx
積算基準 [6 機械・電気通信]	SWExxxxxx	WExxxxxxx
積算基準 [5 建設機械損料表]	MMJxxxxxx	Kxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900 ※	S0901 ※	SE918 ※
名称、労務数量等を設定	SA901 ※	SA902 ※	SA910 ※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxx		SC900 ※

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合があります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が小さくなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。
積算基準の機械運転単価表に記載のある「機-〇〇」は、積算基準「1 一般土木」県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準「4 下水道」において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準「5 建設機械損料」により決定します。ただし、条件を個別設定する場合があります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準「3 港湾」において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増する場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準「1 一般土木」県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データー一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データー一覧表に関連情報※が記載されています。
同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。
※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データー一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データー一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データー一覧表金額欄に「*減額処理*」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データー一覧表金額欄に「*単価置換*」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。
「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。
詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目	業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない		測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上		測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上		測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない		—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

本工事費 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

*** 本工事費 ***	費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
道路改良工						
雪寒施設工			式			
地中熱交換工			m3			
地中熱交換井削孔			一式			
地中熱交換井削孔			m		574	
ケーシング管挿入			m		574	
汚泥吸排車運搬			m3		10	
汚泥処分費			m3		10	
ヒートパイプ工			一式			
コルゲート型ヒートパイプ			本		84	
珪砂			m3		4	
プレート付き 全防錆			個		100	
溶接金網			m2		50	
ヒートパイプ挿入			m		1,680	
ヒートパイプ放熱部据付			m2		50	
珪砂充填			m3		4	
パー型スパーサー据付			m2		50	

本工事費 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など		規格1・規格2		単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
仮設工							
交通管理工				式			
交通誘導警備員				式			
交通誘導警備員B				一式			
直接工事費				人日		80	
共通仮設費 (率分)							
共通仮設費計							
純工事費							
現場管理費 (率分)							
現場管理費計							
工事原価							
工事原価計							
一般管理費等							
契約保証費							
一般管理費等計							
工事価格							
消費税相当額							
工事費							